

# 道立林業学校を

## 芦別に

8

### 北海道の検討状況

北海道では、これまで林業大学校などの教育機関の設立について、「北海道の森林づくりを担う人材育成のあり方検討懇談会」を開催

し、学識経験者や林業関係者等の意見を幅広く聴きながら、昨年11月に「北海道の森林づくりを担う人材育成機関のあり方に関する基本的な考え方」をまとめ、平成29年度末までに基本構

想を策定することとしてい  
ました。  
2月20日に（仮称）北海道立林業大学校基本構想（案）が公表されるとともに、意見公募が行われましたが、本市が誘致を目指している拠点施設の設置場所に関しては、この基本構想（案）には盛り込まれておらず、決定時期も示されていない状況です。  
基本構想（案）で示された主な内容は、表のとおりです。

### ◎（仮称）北海道立林業大学校基本構想（案）の概要

項目	内容
名称	（仮称）北海道立林業大学校
教育内容	「教育課程」 専門的な知識や実践的な技術を2年間で習得 「カリキュラム」 講義と実習を組み合わせた実践的なカリキュラム ○道内の林業・木材産業を体系的に学ぶ講義 ○道内全域をフィールドとした豊富な地域実習 ○自立性や社会性の習得に向けた実践的林業教育
就学要件	道内事業体等に就業を希望する者で高等学校卒業または同等以上の学力がある40歳以下の者
学年定員	40人程度
施設	「校舎」 既存施設を最大限活用しながら整備を進めるとともに、新築での整備が必要な施設については、道産木材の利用を検討。 「実習フィールド」 地域の特徴などを十分踏まえ、6圏域区分（道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）などを参考に、各圏域に所在する道有林や市町村有林を活用するなどして、実践教育に必要な実習可能なフィールドを確保。
開校スケジュール	講義、実習などのカリキュラムの作成や講師の選定、企業や地域との連携協定の締結などを行うとともに、学生の確保に向けた説明会を開催するなど、平成32年度を目途とした開校の準備を進める。

## 市長だより

12

市民の皆さんこんにちは。雪解けが進み、ようやく春の訪れを感じる日々となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

3月1日に、東京に本社がある、ソフトウエアの設計・開発等を手掛けられ、今日のIT業界で急成長を遂げられている株式会社ビックボイス様が芦別事業所（旧上芦別保育園跡）を開設される発表会が市役所で行われました。本市では8年ぶりとなる企業進出であり、また、ソフトウエア開発分野では初となりますことから、本市経済の

振興発展、地域振興に寄与いただけるものと期待をいたしております。  
3月8日から26日まで開かれた定例市議会でも、新年度予算が確定しました。平成30年度予算が、市民の皆さんの安全安心な暮らしと、本市が力強く伸び、成長の礎となるよう、皆さんの声を聴きながら、適正に執行してまいります。



3月16日、専門学校北日本自動車大学校で卒業式が行われ、祝辞を述べました

本市には力強く伸びる成長力を秘めた力が大いにあると確信しています。わけても、「豊かな森林資源など恵まれた自然」、「災害や地震が少ない安全安心な土地柄」、「他に引けを取らない良質な農産物の食」、「環境省から道内唯一の国民保健温泉地として認定された芦別温泉」の4大資源は、かけがえのない芦別ならではの誇れる価値であり、ブランドです。  
今後これらを効果的、有機的に結合させ、磨き上げて、発信力を高め、地域活性化につなげてまいりたいと考えています。

芦別市長 荻原 貢